

### 聞こえと認知症、人工内耳について

日本は世界に先駆けて超高齢社会を迎えており2025年には高齢化率が30%を超えると予想されています。それに伴い認知症の増加が社会問題となっており、認知症の危険因子として難聴が挙げられています。認知症の予防・介入・ケアに関するランセット国際委員会の2017年報告では修正可能な危険因子として難聴が9%と最も影響が大きいと推定され、2020年の改定でも8%と依然としてトップにランクされたことから、加齢性難聴と認知症との関係が注目されています。メカニズムや因果関係について十分に解明されていませんが難聴は様々な要因を介して認知症のプロセスを助長することが示唆されています。WHOの認知症リスク低減に関するガイドラインでは難聴について補聴器装用はエビデンスが不十分とされているものの、近年のメタアナリシスでは補聴器もしくは人工内耳の使用は長期的には認知機能低下リスクを19%

低減し、短期的には一般的認知テストスコアの3%改善と有意に関連したことが示されました。認知症に関してそれぞれのリスクに個別にではなく総合的に対処することが重要とされていますが、難聴に関しては対人関係や社会活動を続けることが認知症の防御因子となることはかねてより知られています。難聴が有る際にも補聴器、人工内耳などの聴覚補償のツールを活用して、脳への音声情報入力のをできる限り保ち、対人交流をあきらめないことが重要です。

より良い聞こえのためにお近くの耳鼻咽喉科へご相談くださると幸いです。

### 参考

- 日本耳鼻咽喉・頭頸部外科学会ホームページ  
Sugiura S et al : Auris Nasus Larynx 49 (1) 2022.  
Uchida Y et al : J Am Med Dir Assoc 22 (6) 2021.

## お知らせ

### 沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課からのお知らせ

#### おきなわ医療通訳サポートセンターについて

沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、多言語コールセンター（名称：おきなわ医療通訳サポートセンター）を開設し、医療機関向け①電話・映像医療通訳②簡易翻訳サービス③インバウンド対応相談窓口をすべて無償で実施しております。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】  
「おきなわ医療通訳サポートセンター」  
医療通訳サービス運営事務局(受託事業者：メディフォン株式会社)  
☎ 0570-001-003

無料

24時間365日対応



① 電話・映像医療通訳サービス (18カ国語対応)

**0570-050-232**

② 簡易翻訳サービス (20カ国語対応)

**okinawa\_mi@okinawa-kanko.com**

9時～17時・平日

③ インバウンド対応相談窓口

**info@okinawasoudan.com**  
**0570-050-233**



←詳細はこちらからご覧ください  
<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/iryoutuyakukoruserntar.html>